



懐かしく新鮮、リードオルガンの世界！

8月1日（土）から9月6日（日）まで企画展「リードオルガンという文化～日本が洋楽と出逢った時～」を開催しました。リードオルガンとは昭和40年代まで小学校でも沢山使われていた、ペダルを足で踏んで空気を送って鳴らすオルガンのことです。リードという薄くて小さな金属片が振動して鳴るのでリードオルガンというのが正式名称。このリードオルガンは19世紀はじめにヨーロッパで生まれましたが、空気を吸い込むものと吹き出すものとの2種類があり、日本で使われているのは19世紀中頃にアメリカで完成された吹き出し式のオルガンです。

明治維新で小学校に唱歌教育が導入されましたが、文部省はこの唱歌の伴奏にリードオルガンを推奨し、アメリカやヨーロッパ製のオルガンは高価なので明治中頃に国産オルガンが作られるようになり普及していきました。浜松の山葉寅楠（現ヤマハ株式会社の創始者）の作ったオルガンは文部省の支援を得て全国に広まりました。また明治維新ではキリスト教が解禁され、多くの宣教師が来日、賛美歌を歌う時もこのリードオルガンで伴奏しました。唱歌と賛美歌はオルガン普及の大きな原動力だったのです。

展覧会では、19世紀アメリカ、メイソン&ハムリン社やエスティ社の豪華なオルガンやアメリカのリードオルガンカタログ・カード、山葉製の明治、大正、昭和のオルガン、横浜の西川オルガン、松本オルガン、大阪の石原オルガンの他、明治期のオルガン教則本や小学唱歌集、

オルガンの販売カタログなど、女学校でのオルガンを使ったお遊戯風景の写真など、貴重な資料150点が紹介されました。

また8月29日（土）午後2時から音楽工房ホールにてレクチャーコンサート「日本の歌と風琴（ふうきん＝リードオルガンの和名）と～リードオルガンの優しき調べ～」を開催しました。日本リードオルガン協会会長赤井励さんの解説と宮崎滋さんのオルガン演奏、竹内直美さんのソプラノで、オルガンを伴奏にいろいろな歌が披露されました。演奏したオルガンはアメリカ・エスティ社の大型オルガン、日本楽器（現ヤマハ）の明治から昭和のオルガンの計4台で、それぞれ魅力の異なる響きでした。

東京の霊南坂教会でオルガン奏者をしていた作曲家大中寅二の「椰子の実」、小学唱歌集から「うつくしき」「われは海の子」、賛美歌が原曲の「冬の星座」、滝廉太郎の「荒城の月」、同じく「花」が含まれる滝廉太郎の「四季」も全曲演奏され、最後に「ふるさと」と「里の秋」を会場の全員で150人で合唱しました。リードオルガンの素晴らしさを再認識した展示とコンサートでした。

企画展「リードオルガンという文化～日本が洋楽と出逢った時～」
平成21年8月1日（土）～9月6日（日） 入館者 15,685名

レクチャーコンサート「日本の歌と風琴と～リードオルガンの優しき調べ～」
日時：平成21年8月29日（土）14:00～16:00 入場者 140名
会場：アクトシティ音楽工房ホール 出演：宮崎滋、竹内直美、赤井励

音を楽しみ、文化を学ぶ ～レクチャーコンサート～

第 87 回レクチャーコンサート

小鼓～その美学と音の巧み～



小鼓は、ひな人形の五人囃子のひとりが持つ砂時計型の両面太鼓で、普段は能や歌舞伎、民俗芸能などの演奏される楽器です。この小鼓にスポットをあて、構造から譜の読み方まで、ひとつずつ魅力にせまっていきました。お迎えしたのは日本を代表する名手、幸信吾さん。掛川市出身の能楽観世流シテ方の長谷川晴彦さんによる謡も交えながら、小鼓と謡との関係をわかりやすく紹介しました。

コンサートは館長と幸さんによる質疑応答を中心に進められました。幸さんが演奏する小鼓は、叩く面に使われている馬の革は明治後期から、桜木の胴は江戸時代から使われている歴史のある楽器だそうです。演奏前に必ず行う準備、打つごとに左手で調べ（ひも）を操作して、「ポ」「ブ」「チ」「タ」という4種類の音を叩き分けるようすなど、興味深い仕草に気づくこともでき、ひとつひとつの仕草に日本の伝統と歴史のある楽器への敬意が感じられました。また、譜を見ながらの演奏の解説では、小鼓と謡がどう掛け合っているのかを改めて確認することもでき、小鼓の世界を堪能することができました。

日時：平成 21 年 7 月 4 日（土）14:00～16:00 会場：アクトシティ音楽工房ホール 出演：幸信吾（小鼓）、長谷川晴彦（謡） 入場者：117 人

第 89 回レクチャーコンサート

御座楽～甦った幻の琉球王府宮廷楽～



「御座楽」は「うざがく」と読み、琉球に伝わった中国系の宮廷音楽です。琉球の宮廷や「江戸上り」（江戸幕府に使節団を派遣する）の際に薩摩屋敷や徳川将軍の前で演奏されていたのですが、琉球王朝が消滅し演奏の場を失ったことで長らく幻の宮廷楽となっていました。平成 4 年に首里城が復元されたのを機に、翌年 5 月より沖縄県は御座楽の復元に着手、10 年の歳月をかけて復元したものです。

演奏会は、琉球舞踊の「かぎやで風」の演奏ではじまります。これは御座楽ではないのですが、沖縄の演奏会では必ず最初にこの曲を演奏しないと始まらない、という位置づけの曲なのだそうです。三線、箏、笛などの伴奏で、「今日の良き日を何にたとえることができようか・・・」という意味の歌詞を歌いながら、琉球の伝統舞踊が

舞われました。比嘉さんによる琉球や御座楽についてのお話を挟み、いよいよ御座楽が演奏されます。18 種類もの楽器が使われましたが、その中には月琴や揚琴など中国系の楽器が多く見られました。大勢での合奏や、3～4 人での小規模な演奏、中国語の歌が入った曲など、華やかで高雅な御座楽の響きを楽しみました。

日時：平成 21 年 9 月 12 日（土）14:00～16:00 会場：アクトシティ音楽工房ホール 出演：御座楽復元演奏研究会（演奏） 比嘉悦子（お話） 入場者：132 人

第 90 回レクチャーコンサート

天使の調べ～無伴奏リコーダーの饗宴～

世界的に有名なリコーダー奏者、ヴァルター・ファンハウヴェさんと田中せい子さん、ダニエレ・ブラジエッティさんの 3 名を迎えてリコーダーのソロやアンサンブルの演奏を楽しみました。リコーダーには小学校で使うソプラノリコーダー以外にもアルト、テナー、バスなどの種類があります。一本ではさほど音量が大きなものではありませんが、複数のリコーダーが合わさると、非常に豊かな響きになります。「無伴奏リコーダー」ということで、他の楽器の音が一切混ざらない、純粋なリコーダーの響きを楽しみました。

途中、質疑応答の時間に、どんな楽器を使っているか、どんな曲を演奏するのか、などの質問があり、それに対して「使っている楽器は日本製が多く、現在日本のリコーダーの評判がとてもいいため、ヨーロッパからも依頼がある」とのことでした。ルネサンスの曲がたくさん残っているのでそれらが演奏されることが多いそうですが、他にもバロックや 20 世紀の音楽、他の楽器の曲をリコーダーで演奏することもあるそうです。

楽器博物館の展示室で行われた規模の小さな演奏会でしたが、会場はリコーダーの優しい響きに包まれました。

日時：平成 21 年 9 月 15 日（火）18:45～20:45 会場：展示室 出演：ヴァルター・ファンハウヴェ、田中せい子、ダニエレ・ブラジエッティ 入場者：84 人



第2回イヴニングサロン「19世紀 懐かしのブラスの響き」



夕方のひと時を、サロンコンサートで楽しもうと企画したイヴニングサロン。今回は、19世紀に作曲された金管アンサンブルを当時のスタイルで紹介しました。使用した楽器もすべて19世紀に作られたもので、ビューグル、オフィクレイド、テナーホルン、ヘリコン、ヴァルヴ・トロンボーンなど、現代の金管アンサンブルでは使われない金管楽器も使われました。

演奏会は、ヴィクトール・エヴァルト作曲の「金管五重奏曲第1番」、ジーン・ペロン作曲「金管五重奏曲第3番」（日本初演）などの演奏、演奏の合間には金管楽器研究家の佐伯茂樹さんの解説もあり、みなさん熱心に耳を傾けていました。19世紀の温かみのある金管楽器の響きを味わった1時間でした。

イヴニングサロン「19世紀懐かしのブラスの響き」 会場：展示室
日時：平成21年7月19日(日)18:30～19:30 出演：東京ヒストリカルブラス 入場者：62人

講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」終了しました

4月から開講している連続講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」（全8回）は、7月から9月にかけて、「アンダルシアに咲いた花」「オクシタンの明るい世界」「タランテッラは鳴り響く」というタイトルで行いました。

スペイン・アンダルシア地方はさまざまな民族が出入りした地域で、多くの文化や人種が共存し混じり合って豊かな文化が醸成されました。後に、ジプシーがそれらの複合的な音楽を変化させたものがフラメンコへと繋がっていきました。オクシタンとは、南フランスの独自の言語や文化をもつ地域で、今でも古いヨーロッパ文化が残る一帯です。トルバドゥール発祥の地の伝統的な歌や、バスク地方ベルチョラーリ（農民であり詩人）による歌合戦。シャブレットと呼ばれるバグパイプやハーディガーディに合わせて踊るブーレ。日本では手に入らない音源や映像を用いて紹介しました。タランテッラは南イタリアの舞曲。ポリフォニーの古い形が残る南イタリア“長靴”の爪先からかかどにあたる文化的な地域から、イスラムやノルマンといったさまざまな国に支配されていたシチリアやサルデーニャの音の移り変わりを辿っていきました。

さまざまな地域に暮らす諸民族の歴史や生活から、ヨーロッパ音楽の源流といえる楽器や音楽を探った当講座。全回通して参加された方もおり受講者の方から大変好評でした。

講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」会場：アクトシティ研修交流センター

日時：4月25日(土)14:00～16:00 第1回「民族文化の十字路口・バルカン」参加者43名
5月10日(日)14:00～16:00 第2回「草原を駆けめぐるコサックとは」参加者26名
5月23日(土)14:00～16:00 第3回「ヴァイキングの船人たち」参加者39名
6月13日(土)14:00～16:00 第4回「アルプに育まれた文化」参加者19名
6月28日(日)14:00～16:00 第5回「謎の人ケルトの水脈」参加者45名
7月11日(土)14:00～16:00 第6回「アンダルシアに咲いた花」参加者35人
9月19日(土)14:00～16:00 第7回「オクシタンの明るい世界」参加者26人
9月26日(土)14:00～16:00 第8回「タランテッラは鳴り響く」参加者24人

講師：江波戸昭（明治大学名誉教授）



大盛況！ 夏休み特別ミニ・コンサート

家族連れで賑わう夏休みの週末は、さまざまな楽器をテーマにして展示室ミニコンサートを行いました。

8月2日は、イランの楽器「サントウール」。サントウールは、台形の木箱に4本ひと組で72本の金属の弦を張り、その弦を2本のバチで叩いて演奏する楽器です。あまりなじみのないイランの音楽ですが、西洋音階とは異なるサントウールの不思議な響きに多くのお客さんが魅了されていました。

8月9日は南米のハーブ、「アルパ」です。ヨーロッパのハーブが南米に伝わり、現地の楽器として使われるようになったものです。アルパ独奏で南米の曲を何曲か演奏したあとに、アルパを伴奏に歌が加わりました。爽やかなアルパの響きと、美しい歌声が展示室に響きました。

8月23日は、インドネシア・ジャワ島の「ガムラン」。大人気で演奏されることが多いですが、今回は小編成での演奏です。見た目にも華やかな、金色に輝く青銅製の楽器に加え、皮が張られたクندانや弦楽器のルバンプなど、さまざまな楽器が演奏されました。元々は王宮で演奏された楽器なので、いかにも王宮と思わせる華やかで荘厳な響きを楽しみました。



「サントウール」 出演：谷正人 参加者：155名 「アルパ」 出演者：長島忠之（アルパ） ミシェル・マーコート（歌）参加者：246名
「ジャワ島の小編成ガムラン」 出演者：ガムラン・ワサビ 参加者：102名

CD 新発売 ヴァイオリンとフォルテピアノ

楽器博物館の所蔵楽器を使用した CD「楽器博物館コレクションシリーズ」に、新たに2枚のCDが加わりました。

「愛の挨拶～美しきヴァイオリンの世界～」は、シリーズ初となる弦楽器のCDです。演奏は松田淳一さん(ヴァイオリン)、松田淳子さん(ピアノ)。ステッキ・ヴァイオリンやストロー・ヴァイオリンなど、館蔵の珍しいヴァイオリン11丁を使用して名曲の数々を収録しました。

「夢～トロイメライ～」は、館蔵の伝グラーフ作フォルテピアノ(1820年・ウィーン)を使い収録しました。19世紀前半ドイツ・ロマン派の薫り高い音楽が甦ります。



「レコード芸術」誌9月号特選盤に

CDシリーズ20「麗しきメンデルスゾーン～歌の翼に～」が、レコード芸術2009年9月号にて特選盤として推薦されました。

・シリーズ19「愛の挨拶～美しきヴァイオリンの世界～」
・シリーズ21「夢～トロイメライ～」
楽器博物館ショップ(TEL:053-451-0300)または
一般CD店、アマゾンでも購入できます。

◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日1時間毎
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモンストレーション
- 企画展
「ピアノヒストリー」
10/29(木)～2010.1/11(月) 展示室
「素晴らしき哉、ハーモニカ!」
10/29(木)～2010.1/11(月) 展示室
- ミニテーマ展示
「大正琴ロマン」
10/15(木)～2010.1/11(月) 展示室
- レクチャーコンサート
「バリトン～ハイドンが愛した幻の弦楽器」
11/16(月) 18:45 展示室
出演: エステルハージ・アンサンブル
「ブレイエル・ピアノと弦楽による19世紀の響き～ショパン、ピアノ協奏曲第1番室内楽版」
11/20(金) 19:00 アクトシティ中ホール
出演: 小倉貴久子、桐山建志、小岩信治 他
「フォルテピアノで聴く魅惑のハイドン～ウィーンからロンドンへ」
12/13(日) 14:00 アクトシティ音楽工房ホール
出演: 本多まき(フォルテピアノ)、藤江効子(お話)
「カミーユ・ブレイエルに捧げられたプレリュード～名器ブレイエルで聴く24の前奏曲」
1/17(日) 14:00 アクトシティ音楽工房ホール
出演: 河合優子
- レクチャー「カミーユ・ブレイエルに捧げられたプレリュード～自筆譜から見るショパンの思考」
1/16(土) 14:00 アクトシティ音楽工房ホール
講師: 河合優子
- イヴニングサロン
「今宵はシューベルト」 10/24(土) 18:30
展示室 出演: 七條恵子(フォルテピアノ)
「チェンバロの夕べ」 12/19(土) 18:30
展示室 出演: 會田賢寿
- 講座「楽器の中の聖と俗」
第45回「鹿児島県加計呂麻島・諸鈍シバヤ」
10/17(土) 14:00 アクトシティ研修交流センター
講師: 西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授)
第46回「新潟県佐渡市 つぶるさし/神奈川県川崎市 かなまら祭り」
12/5(土) 14:00 アクトシティ研修交流センター
講師: 西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授)
第47回「広島県北広島市 壬生(みぶ)の花田植」
1/23(土) 14:00 アクトシティ研修交流センター
講師: 西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授)
- 世界の楽器体験ワークショップ
「親指ピアノ」 11/28(土) 13:00～16:00
アクトシティ研修交流センター 講師: サカキマンゴ

◆博物館日誌

- 7/1(水) 市制記念日 無料入館日 入館者202名
- 7/4(土) レクチャーコンサート「小鼓～その美学と音の巧み」
14:00 音楽工房ホール 出演: 幸信吾、長谷川晴彦
入場者117名
- 7/11(土) 講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」
第6回「アンダルシアに咲いた花」14:00
アクトシティ研修交流センター 参加者35名
講師: 江波戸昭(明治大学名誉教授)
- 7/19(日) イヴニングサロン「19世紀懐かしのプラスの響き」
18:30 楽器博物館展示室 出演: 東京歴史カル
プラス 参加者62名
- 7/26(日) ミュージアムサロン「ミュージカルグラス」14:00
出演: 伊藤弘恵、北川敏行、岡部美喜(当館職員)
参加者90名
- 8/2(日) ミュージアムサロン「サントウール」14:00、15:30
出演: 谷正人 参加者155名
- 8/4(火)～8/11(火) 学芸員実習
- 8/9(日) ミュージアムサロン「アルパ」14:00、15:30
出演: 長島忠之、ミシェル・マグワイア 参加者246名
- 8/12(水) ミュージアムサロン「ミュージカルグラス」14:00
出演: 伊藤弘恵、北川敏行、岡部美喜(当館職員)
参加者115名
- 8/21(金) 県民の日 無料入館日 入館者1104名
- 8/23(日) ミュージアムサロン「ジャワガムラン」14:00、15:30
出演: ガムラン・ワサビ 参加者102名
- 8/26(水) ミュージアムサロン「パンジョー」13:30、15:00
出演: 原さとし 参加者111名
- 8/29(土) レクチャーコンサート「日本の歌と風琴と～リードオルガンの優しき調べ」14:00 音楽工房ホール
出演: 宮崎滋、竹内直美、赤井励 入場者140名
- 9/6(日) 企画展「リードオルガンという文化」終了
期間中入館者15,685名
- 9/12(土) レクチャーコンサート「御座楽～甦った幻の琉球王府宮廷楽～」
14:00 音楽工房ホール 出演: 御座楽復元演奏研究会、
比嘉悦子 入場者132名
- 9/15(火) レクチャーコンサート「天使の調べ～無伴奏リコーダーの響宴」18:45 楽器博物館展示室 入場者84名
出演: ヴァルター・ファンハウヴェ、田中せい子、
ダニエレ・ブラジエッティ
- 9/19(土) 講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」
第7回「オクシタンの明るい世界」14:00
アクトシティ研修交流センター 参加者26名
講師: 江波戸昭(明治大学名誉教授)
- 9/24(木)～9/26(土) 移動楽器博物館(浜松市立亀玉小学校)
- 9/26(土) 講座「ヨーロッパ民族音楽紀行」
第8回「タランテラは鳴り響く」14:00
アクトシティ研修交流センター 参加者24名
講師: 江波戸昭(明治大学名誉教授)
- 9/30(水)～10/2(金) 移動楽器博物館(浜松市立浅間小学校)

利用案内

常設展観覧料: 大人400円 高校生200円
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料
開館時間: 9:30～17:00
休館日: 毎月第2・4水曜日(祝日のときは翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日

浜松市楽器博物館だより

平成21年10月5日発行 No.57
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp